

# 政策シート

(政策名) 地域の文化遺産の保全・活用

(予算費目名) 博物館費

(総合計画体系)

「分野」 文化・生涯学習

30年後の姿 創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。

- 10年後の目標
- ・ 音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。
  - ・ 多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。

◆基本政策 感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造

## ◇政策の概要

- ①魅力ある展示会・学習会・講座・体験館などを開催し、博物館で学ぶ機会を拡充します。
- ②歴史資料を適切に保管するために、収蔵資料台帳を整備し、デジタル化するとともに、調査研究に基づいた資料の公開活用を進めます。
- ③市民の博物館活動への参加と、地域、学校、大学等との連携事業を推進します。
- ④市民や学校の要望に応える新たな博物館構想の策定に着手するとともに、分館の事業の充実を図ります。

## ◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	124,845	151,057	106,163	93,673
決算	124,601	121,922	91,607	
人件費(A)	83,200	86,000	87,000	87,000
報酬(B)	144	144	144	190
年間経費(予算又は決算+A+B)	207,945	208,066	178,751	180,863

## ◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
博物館の年間観覧者数	人	71,000	目標	71,000	71,000	71,000	71,000
			実績	73,876	80,743	79,692	
分館における展覧会開催数	回	15	目標	10	10	10	10
			実績	14	13	16	
			目標				
			実績				

## ◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

- ①魅力ある展示会・学習会・講座・体験館などを開催し、博物館で学ぶ機会を拡充します。
- ②歴史資料を適切に保管するために、収蔵資料台帳を整備し、デジタル化するとともに、調査研究に基づいた資料の公開活用を進めます。
- ③市民の博物館活動への参加と、地域、学校、大学等との連携事業を推進します。
- ④市民や学校の要望に応える新たな博物館構想の策定に着手するとともに、分館の事業の充実を図ります。

## ◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

博物館の雨樋改修工事や避難誘導灯設置工事、伊場遺跡公園の弥生時代復元役所屋根修繕工事、蜷塚公園の復元家屋茅葺改修工事を実施し、博物館来館者や公園利用者が安全に博物館や史跡が見学できるよう学習環境の整備を進めました。

特別展「遠州報国隊～知られざる幕末尊王志士たち～」を開催し郷土の歴史資産の公開に努めました。また、「浜松の林業の道具」天竜川の治水」「三遠南信土の中のわくわく動物園」「わたしのこけし」井伊直虎と戦国の国衆」を開催し、浜松地域の歴史文化の普及発展に努めました。

監査で指摘された収蔵資料のデジタル化をスピード感を持ち、また、質の向上を目指します。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		非常勤
1	博物館運営事業	○	○			57,996	41,226	1.7	0.6		0.9	190
2	遺跡公園運営事業					38,081	31,041	0.8	0.4			
3	博物館展示会開催事業	○	○			29,715	11,075	2.4	0.2		0.4	
4	学習会開催等連携事業					31,420	5,140	2.6	0.3		2.5	
5	博物館資料調査収集活用事業					23,651	5,191	1.5	0.5		2.2	
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						180,863	93,673	9.0	2.0		6.0	190

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

# 事業シート (事業名) 博物館運営事業

## ◇事業目的・事業対象

博物館は、浜松地域の歴史と文化を紹介する博物館施設を管理し運営することにより、浜松市民の学習を支援する機能を維持します。これにより、新しい時代に向けた浜松市民の文化創造に寄与します。

## ◇事業の概要

以下の博物館と分館の建物、設備等の維持管理と本館・分館の運営を行います。

- ・博物館施設
- ・市民ミュージアム浜北
- ・姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館
- ・春野歴史民俗資料館
- ・水窪民俗資料館
- ・舞阪郷土資料館(指定管理施設)
- ・旧カモシカと森の体験館
- ・旧龍山郷土文化保存伝習施設

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S54	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市博物館条例	○		○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	75,908	94,739	52,802	41,226
	決算	75,908	68,404	47,652	
	国・県支出		3,210		
	市債				
	その他	5,349	7,430	6,429	6,506
	一般財源	70,559	57,764	41,223	34,720
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)		144	144	144	190
人件費 (千円)		18,260	16,860	18,260	16,580
人工	正規	1.7	1.7	1.7	1.7
	再任用(h31)	0.6	0.6	0.6	0.6
	再任用(h26)				
	非常勤	1.5	1.0	1.5	0.9

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
施設管理状態に対する満足度 (%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	90	90	90	90	90	90
実績値	90	90	90			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

以下の博物館と分館の建物、設備等の維持管理と本館・分館の運営を行います。

- ・博物館施設
- ・市民ミュージアム浜北
- ・姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館
- ・春野歴史民俗資料館
- ・水窪民俗資料館
- ・舞阪郷土資料館(指定管理施設)
- ・旧カモシカと森の体験館
- ・旧龍山郷土文化保存伝習施設

・事業の成果と課題

指標の達成度

平成29年度の利用状況及び業務の執行状況は次のとおりです。

博物館では雨樋改修工事、誘導灯設置工事、第1駐車場バリアカー修繕工事、正面玄関付近側溝改修ほか整備工事、エレベーター機械室防音材修繕工事、2階男子トイレ修繕工事、煙感知器及び誘導灯設備修繕工事、ブラインド及び点検口修繕工事、カーテン修繕工事、1階天井内通気管修繕工事、事務室照明器具取替等修繕工事、電柱支線修繕工事、荷解場シャッター修繕工事、ハロンガスボンベ室照明灯修繕工事、特別展示室除湿機室外機基盤交換修繕工事、感知器取替修繕工事、空調機修繕工事等を実施し、水窪民俗資料館では男子トイレ配水管修繕工事を実施し、姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館ではクロス貼り替え工事、リモコンリレー等修繕工事、防犯灯改修工事、講義室ブラインド修繕工事、南側ブロック塀改修工事を実施したことにより、市民の歴史学習を支援する機能を維持できたものと考えます。また、標識内容が古くなっていた入野町既存案内標識の撤去工事を実施しました。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

本年度は、博物館の雨樋改修工事や避難誘導灯設置工事などにより施設機能が改善し、来館者の安全、収蔵資料の保全が確保されました。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

施設の長寿命化と大規模改修を考えるとともに、来館者の安全と満足度が確保できる維持管理を目指していきます。

# 事業シート (事業名) 遺跡公園運営事業

## ◇事業目的・事業対象

博物館は、蜷塚(遺跡)公園を、隣接する博物館と一体的に管理し、伊場遺跡公園とともに学び憩える歴史公園としての機能を維持します。これにより、貴重な歴史的文化遺産の保護と活用を図ります。

## ◇事業の概要

- ・蜷塚公園及び伊場遺跡公園の、除草・樹枝剪定等の業務委託事務、公園用地の賃貸借契約事務など、維持管理業務を行います。
- ・復元家屋ほかの屋外展示物や園路の補修工事など、遺跡公園の整備を行います。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S54	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市博物館条例	—		

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	26,667	32,788	31,426	31,041
	決算	26,667	32,921	29,609	
	国・県支出				
	市債				
人件費(報酬等) (千円)	その他				
	一般財源	26,667	32,921	29,609	31,041
	一般会計繰入金				
人件費 (千円)		8,440	8,440	8,440	7,040
人工	正規	0.8	0.8	0.8	0.8
	再任用(h31)	0.4	0.4	0.4	0.4
	再任用(h26)				
	非常勤	0.5	0.5	0.5	

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
公園整備件数 (件)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	6	6	6	6	6	6
実績値	9	9	11			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

・蜷塚公園及び伊場遺跡公園の、除草・樹枝剪定等の業務委託事務、公園用地の賃貸借契約事務など、維持管理業務を行います。  
・復元家屋ほかの屋外展示物や園路の補修工事など、遺跡公園の整備を行います。

・事業の成果と課題

指標の達成度

進んでいる

○蜷塚公園・伊場遺跡公園維持管理事業

蜷塚公園・伊場遺跡公園における、樹木等の管理及び伊場遺跡公園巡回清掃を委託として実施しました。

○遺跡公園整備事業

蜷塚公園整備・修繕として復元家屋茅葺改修工事、旧高山家住宅置表替工事、看板整備工事、トイレ他修繕工事を行いました。伊場遺跡公園整備・修繕として、奈良時代役所復元家屋屋根修繕工事、復元家屋囲い柵修繕工事、入口バリカーほか修繕工事、ブロック修繕工事、ダストボックス設置工事、川沿い柵修繕工事、石碑移設工事、水道設備修繕工事、遮蔽林整備工事、掘立柱遺構整備工事、園路整備工事を行いました。以上により、蜷塚公園ならびに伊場遺跡公園内にある建物・園路等が修繕され、来園者にとって浜松の歴史文化を学習でき、親しみのある公園を維持できました。

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 - / - 事業費 現状 人工 現状

公園内の補修や、高木の剪定により、公園の若返りを図るとともに、利用者が公園を安全かつ快適に使用できるように努めました。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 その他 / 事業費 拡大 人工 拡大

今後も、貴重な歴史的文化遺産である蜷塚公園及び伊場遺跡公園について、長寿命化に向けて、修繕整備と維持管理に努めていきます。

また、ボランティアとの協働をはじめ、市民目線に立った公園づくり、魅力アップに努めていきます。

# 事業シート (事業名) 博物館展示会開催事業

## ◇事業目的・事業対象

博物館は、常設展や特別展・テーマ展などの展示会で浜松市民が地域の歴史文化遺産について実際に目に触れる機会を創出します。また、観光や学習等で浜松を訪れる人びとに、地域の個性ある歴史文化を紹介します。

## ◇事業の概要

### 常設展・テーマ展開催事業

- ・浜松市の歴史文化について通史的に常時紹介する常設展示を行います。
- ・常設展示を補完するため、展示内容を深く掘り下げ、魅力ある歴史文化遺産を紹介するテーマ展示を開催します。

### 巡回展開催事業

- ・本館のテーマ展を分館等に巡回展示します。
- ・地域の独自文化と広域性を比較する巡回展を開催します。

### 特別展開催事業

- ・郷土の歴史文化遺産を全国の関連資料とともに紹介します。
- ・浜松が全国に誇る魅力ある歴史文化遺産を、市民の目に触れる機会をつくります。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S54	—	一般会計	自治事務(その他)	博物館法	○	—	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	14,073	13,290	12,168	11,075
	決算	11,894	11,407	7,830	
	国・県支出				
	市債				
	その他	2,261	1,273	897	1,661
	一般財源	9,633	10,134	6,933	9,414
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		19,420	19,420	18,220	18,640
人工	正規	2.7	2.7	2.5	2.4
	再任用(h31)			0.2	0.2
	再任用(h26)	0.2	0.2		
	非常勤				0.4

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
特別展及びテーマ展における来館者数 (人)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	43,000	43,000	43,000	43,000	43,000	43,000
実績値	44,824	48,913	47,006			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
特別展及びテーマ展の平均満足度 (%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	90	90	90	90	90	90
実績値	91.7	90.1	90.5			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
市民協働産学連携による展示会の開催 (件)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	2	3	3	3	3	5
実績値	5	5	5			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

## ◇平成29年度の事業評価

### ・平成29年度の事業の概要

#### 常設展・テーマ展開催事業

- ・浜松市の歴史文化について通史的に常時紹介する常設展示を行いました。
- ・常設展示を補完するため、展示内容を深く掘り下げ、魅力ある歴史文化遺産を紹介するテーマ展示を開催しました。

#### 巡回展開催事業

- ・本館のテーマ展を分館等に巡回展示しました。
- ・地域の独自文化と広域性を比較する巡回展を開催しました。

#### 特別展開催事業

- ・郷土の歴史文化遺産を全国の関連資料とともに紹介しました。
- ・浜松が全国に誇る魅力ある歴史文化遺産を、市民の目に触れる機会をつくりました。

### ・事業の成果と課題

#### 指標の達成度

平成29年度の事業執行状況は次のとおりです。①テーマ展として「井伊直虎と湖北の戦国時代」「浜松の林業の道具」「天竜川の治水」「三遠南信土の中のわくわく動物園」「わたしのこけし」「井伊直虎と遠江の国衆」、小展示「道具たちの百年」「井伊直虎紀行」「干支展戌になむ」などを開催しました。「浜松の林業の道具」では県指定文化財に指定された佐久間の林業の道具を中心に展示をしました。「天竜川の治水」は国土交通省との共催で行い、浜松市水防団の協力も得て展示を行いました。「三遠南信土の中のわくわく動物園」は市民ボランティアとの協働で企画し、三遠南信地域の市町村の協力のもと展示を実施しました。「わたしのこけし」は市民コレクターから借りたこけしを多数展示し、全国から注目を集めました。「井伊直虎と遠江の国衆」はNHK大河ドラマ「おんな城主直虎」の放映に併せて展示会を開催し、市民や浜松を訪れた方の関心の高い展示となりました。②巡回展として「山へ行こう」「天竜川の治水」「浜松と地震」などの本館開催の展示を分館で行ったり、「舞阪宿を記した道中記」「一枚の写真から」など分館だけの展示を実施し、遠方の市民のみなさんに観覧していただきました。③特別展は明治150年を記念して「遠州報国隊」を開催し、明治維新に結成された遠州報国隊活躍を紹介しまし

### ・事業の見直し

#### 実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

市民が関心を持つ展示会を開催しました。省庁・市内外の文化施設・大学等研究機関・学校教育機関等との相互協力や、コレクター・市民ボランティアの参加などにより、地域の歴史遺産の掘り起こしや、個性ある地域文化の発信の場を提供できました。

#### 今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

博物館・分館・市内の展示施設等において、それぞれの施設の置かれた地域の資料を取り入れた新しい展示企画を進めていきます。

また、博物館は諸機関・施設・団体等と連携して、市民協働による展示会を開催していきます。

## 事業シート (事業名) 学習会開催等連携事業

### ◇事業目的・事業対象

博物館は、地域の歴史文化遺産を広く紹介し、市民の学習、研究の機会を広めるため、講座・講演会・学習会等を開催して、市民協働参画のもと世代を越えた文化の継承を目指します。また、未来を引き継ぐ子供には、土日や長期の休日に子供向けの講座・体験学習などの学習機会を提供します。

### ◇事業の概要

#### 講座・体験館等開催事業

- ・地域の歴史文化に関する講座、講演会を開催します。
- ・児童生徒を対象にした体験事業、季節や年中行事に関連する体験事業を、ボランティア活動や市民協働により開催します。

- ・ボランティア養成のための講座を開催します。

#### おでかけミュージアム開催事業

- ・学校移動博物館の開催と学校への教材貸出を行います。
- ・市内の民間施設での展示会(逸品まちかど陳列事業)や出前講座を、積極的に行います。
- ・地域の歴史文化遺産を守り育てる市民団体を支援し、博物館の事業への参画を呼びかけます。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S54	—	一般会計	自治事務(その他)	博物館法	—	—	—

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	3,476	5,385	5,382	5,140
	決算	3,249	4,766	4,589	
	国・県支出				
	市債				
	その他		1,960	2,404	2,000
	一般財源	3,249	2,806	2,185	3,140
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		23,180	24,580	24,880	26,280
人工	正規	2.4	2.4	2.6	2.6
	再任用(h31)			0.3	0.3
	再任用(h26)	0.3	0.3		
	非常勤	2.0	2.5	2.0	2.5

### ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
新たな体験メニューの開発 (件)				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	3	3	3	3	3	5
実績値	3	5	5			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
博物館ボランティアの年間参加者数 (人)				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	1,000	1,000	1000	1000	1000	1,300
実績値	368	310	617			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
学校への教材利用件数 (点)				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,900
実績値	928	1,364	1,825			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

講座・体験館等開催事業  
 ・地域の歴史文化に関する講座、講演会を開催しました。  
 ・児童生徒を対象にした体験事業、季節や年中行事に関連する体験事業を、ボランティア活動や市民協働により開催しました。  
 ・ボランティア養成のための講座を開催しました。

おでかけミュージアム開催事業  
 ・学校移動博物館の開催と学校への教材貸出を行いました。  
 ・市内の民間施設での展示会(逸品まちかど陳列事業)や出前講座を、積極的に行いました。  
 ・地域の歴史文化遺産を守り育てる市民団体を支援し、博物館の事業への参画を呼びかけました。

・事業の成果と課題

指標の達成度  
 計画通り

平成29年度の事業執行状況は次のとおりです。①春休み体験館では「昔のおもちゃで遊ぼう」「勾玉づくり」等、昭和レトロな博物館では「しじみ屋」「昭和のあそび」等、大昔サバイバルツアーでは「原始時代の生活体験」、夏休み体験館では「化石発掘体験」「埴輪づくり」「アンモナイト複製づくり」等を開催しました。また、古民家の旧高山家を利用して、昔の食事作りを体験してもらいました。②旧高山家では、月1回ボランティア団体の協力で「かや葺屋根の下で聞く日本昔話」を開催し、常連の方をはじめ多くの親子が参加しています。③学校移動博物館では市内各区の小学校12校を訪問し、博物館資料の展示と体験講座を実施し、教材用の博物館資料の貸出を行いました。また、授業や校外学習で博物館を利用していただくため、教員向けの博物館利用講座を開催しました。④平成29年度の「博物館の逸品まちかど陳列事業」は東区役所・自治会公会堂・クリエート浜松などで開催し多くの方に博物館資料を見学していただきました。⑤出前講座は28件開催され、学芸員が自治会、老人会、郷土史研究団体で井伊直虎を中心に話をしました。

・事業の見直し

実施結果  
 大項目  改善 小項目  その他 /  事業費  現状 人工  現状

通常の展示会ではできない体験型や伝統文化を受け継ぐ催しを開催して、市民の歴史文化への興味付けや、博物館観覧者と事業参加者のリピーターの増加を計ります。

今後の方向性  
 大項目  改善 小項目  その他 /  事業費  拡大 人工  現状

市内各地域との連携を深めて博物館のアウトリーチ事業を積極的に行います。新しい団体や機関との協働や連携を視野に入れて、様々な事業展開を考えます。博物館が近くに無い地域への展示公開事業の補完や、博物館の認知度を高めるため、アウトリーチ事業を広く展開していきます。また、事業の拡大に伴い地域で活動するボランティアや団体への支援を行います。

# 事業シート (事業名) 博物館資料調査収集活用事業

## ◇事業目的・事業対象

浜松の歴史文化遺産を広く調査収集し保存することが目的です。そしてこれらの歴史文化遺産により、過去の浜松の営みを市民に紹介するとともに、現在の生活文化を将来の浜松市民に伝えてゆくことも博物館の使命です。

## ◇事業の概要

### 1. 資料の調査収集事業

- ・考古、歴史、民俗、文献等、価値ある歴史文化資料を調査、購入、寄贈等により受け入れ、整理し保管します。
- ・新たな資料の情報が寄せられれば、調査しデータを収集します。
- ・収集資料と保管施設は、日常的に防虫防カビ、温湿度管理を行い、また定期的に燻蒸処理をして適切な保存環境を維持します。また傷んだ資料は補修をし、特に貴重な資料はレプリカを制作するなどして、展示活用を図ります。

### 2. 電子データ作成公開事業

- ・16万点に及ぶ博物館収集資料を、将来にわたって保存するとともに有効に活用し、市民の財産として広く公開します。
- ・収集資料台帳を整備し、デジタル化を図り、画像データとともに博物館ホームページで公開します。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-		

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	4,721	4,855	4,385	5,191
	決算	6,883	4,424	1,927	
	国・県支出				
	市債				
	その他				
	一般財源	6,883	4,424	1,927	5,191
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		13,900	16,700	17,200	18,460
人工	正規	1.4	1.4	1.4	1.5
	再任用(h31)			0.5	0.5
	再任用(h26)	0.5	0.5		
	非常勤	1.0	2.0	2.0	2.2

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
新着資料の公開件数 (件)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	10	10	10	10		10
実績値	6	2	8			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
収集資料台帳の整備件数 (件)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100,000	100,000	100,000	100,000		100,000
実績値	69,840	77,133	79,489			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
収集資料台帳の公開件数 (件)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	10,000	10,000	10,000	10,000		20,000
実績値	10,755	11,721	11,721			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

## ◇平成29年度の事業評価

### ・平成29年度の事業の概要

- |  |
|--|
| <p>1. 資料の調査収集事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・考古、歴史、民俗、文献等、価値ある歴史文化資料を調査、購入、寄贈等により受け入れ、整理し保管します。</li> <li>・新たな資料の情報が寄せられれば、調査しデータを収集します。</li> <li>・IPM(総合的有害生物管理)コーディネーターを養成し、害虫やカビの侵入に対する職員の意識を高めます。</li> <li>・収蔵資料と保管施設は、IPMの考え方により日常的に防虫防カビ、温湿度管理を行い、また定期的に燻蒸処理をして適切な保存環境を維持します。また傷んだ資料は補修をし、特に貴重な資料はレプリカを制作するなどして、展示活用を図ります。</li> </ul> <p>2. 電子データ作成公開事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・16万点に及ぶ博物館収蔵資料を、将来にわたって保存するとともに有効に活用し、市民の財産として広く公開します。</li> <li>・収蔵資料台帳を整備し、デジタル化を図り、画像データとともに博物館ホームページで公開します。</li> <li>・蜷塚遺跡、伊場遺跡ほかの発掘調査を記録したフィルムをデジタル化し、保存と活用を図ります。</li> </ul> |
|--|

### ・事業の成果と課題

- |   |
|---|
| <p>指標の達成度</p> <p><input type="text" value="計画通り"/></p> <p>①錦絵「東台大戦争絵図」など、浜松の歴史を展示するために必要な資料、3件4点を購入し、特別展で公開活用しました。</p> <p>資料収集については、寄贈または購入により随時行っており、収集の目標は達成できました。</p> <p>②IPMコーディネーターは有資格者1名、取得研修中1名で、常設展や特別展などで防虫防カビ、温湿度管理を行いました。</p> <p>③収蔵資料台帳の整備とデジタル公開については現在、計画より時間がかかると予想されます。本館・分館の収蔵資料の全てを整備するまで事業を継続する必要があります。</p> <p>④蜷塚遺跡と伊場遺跡の映像フィルム3本、ポジフィルム584枚のデジタルデータ化と、フィルムを適切に保管するための空気環境調査を実施しました。</p> |
|---|

### ・事業の見直し

- |   |
|---|
| <p>実施結果</p> <p>大項目 <input type="text" value="改善"/> 小項目 <input type="text" value="その他"/> / <input type="text" value=""/> 事業費 <input type="text" value="拡大"/> 人工 <input type="text" value="現状"/></p> <p>収蔵資料のデータベース化とデジタル公開を、よりスピーディーに、またより高品質なものにしていく必要があります。</p>  |
| <p>今後の方向性</p> <p>大項目 <input type="text" value="改善"/> 小項目 <input type="text" value="その他"/> / <input type="text" value=""/> 事業費 <input type="text" value="拡大"/> 人工 <input type="text" value="拡大"/></p> <p>本館と分館の収蔵資料を確実に後世に伝えるとともに、有効に活用するため、収蔵庫の確保、資料の分類・収納とデータベース化を進めていきます。監査から収蔵資料のデータベース化とデジタル公開を早急にすすめること、質の高い画像及び歴史的価値付けの充実を計るようにと指摘がされています。また、文化財IPMの知識・技能の普及にも努めます。</p> |